

東ジャワ州スラバヤ都市圏における大規模社会制限の延長

2020年5月11日

【ポイント】

- 5月9日、東ジャワ州は、新型コロナウイルス即応のためスラバヤ都市圏で実施中の大規模社会制限措置を、5月25日まで延長しました。
- 在留邦人の皆様におかれては、引き続き、感染予防と最新情報の入手に努めて下さい。

【本文】

1 5月9日、東ジャワ州知事は、新型コロナウイルス即応のため4月28日から5月11日まで実施中のスラバヤ都市圏（スラバヤ市、シドアルジョ県、グレシック県）の大規模社会制限を、5月25日まで延長する旨発表しました。スラバヤ都市圏において実施されている大規模社会制限の詳細は、以下のリンクをご参照ください。

大規模社会制限の概要（4月26日付メール）

<https://www.surabaya.id.emb-japan.go.jp/files/100048809.pdf>

東ジャワ州知事令仮訳

<https://www.surabaya.id.emb-japan.go.jp/files/100048736.pdf> スラバヤ市長令仮訳

<https://www.surabaya.id.emb-japan.go.jp/files/100052709.pdf>

2 東ジャワ州知事は、今後取り締まりを強化し、大規模社会制限の違反者に対してはより厳格に罰則を適用していくと発言しています。

3 また、インドネシア政府の発表によれば、東ジャワ州における累計感染者数は1,500人を超え、大規模社会制限導入後の直近2週間は週あたり300人以上の感染拡大が続いています。

4 なお、マラン都市圏（マラン市、マラン県、バトゥ市）においても、大規模社会制限の実施に向け準備が進められていると報じられています。

5 在留邦人の皆様におかれては、引き続き、感染予防及び地元政府の措置に関する最新情報の収集に努めてください。